

おたふくかぜ

流行性耳下腺炎

新知台耳鼻咽喉科

〒478-0064 知多市新知台二丁目4番30

TEL 0562-54-2700

● 原因

原因となる病原体は「ムンプスウイルス」で、**2～3週間の潜伏期間**を経て発症します。このウイルスはくしゃみ、せきなどの時に出る飛沫物（つばき）や手などの接触によって、人から人へと感染していきます。

● 症状

耳の下からあごにかけて腫れ上がり、痛くなることが多く、「**おたふくかぜ**」とも呼ばれています。また、発熱や頭痛を伴うことも多くあります。



● 合併症

千人に一人くらいの割合で、**難聴**が起こるとされています。その多くは片側の高度難聴で、治すことが難しいのが現状です。他には**髄膜炎**や、思春期以降の男女が感染すると**睾丸炎**、**卵巣炎**を起こすこともあり、まれに不妊の原因になります。また、女性では妊娠13週までの妊婦が感染すると、その25%が自然流産を起こすとされています。

● 検査

「おたふくかぜ」以外にも耳下腺が腫れる病気があるので、**血液検査**で確実に診断することが望めます。

● 治療

特効薬はないので、痛みや発熱の症状を押さえる治療のみとなります。

● 登園・登校について

耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまでお家で安静が必要です。



★ 症状が急に変わることもあります。疑問な点や困った事がありましたら、なるべく早目におたずねください。

おだいじに
なさってください。

